

キャンパスライフに対するアンケート結果（令和5年度）

桑原 真裕子、吉澤 智子、竹村 香

折山 正禮、園原 康平、渡邊 千春、奥井 現理、武分 祥子

1. 目的

本学学生の学生生活に対する満足度を調査することにより、短期大学職員のあり方を見直し、業務改善及び施設設備の充実を図るの一助とする。

2. 調査方法

(1) アンケート調査

(2) 対象：本学に在籍する全学生（悉皆調査）

(3) 調査期間：令和6年1月17日～24日

(4) 調査内容：質問項目は、対象者の属性、サポート体制、教育施設・設備について

(5) データ収集方法：オクレンジャーによるアンケート内容の送信と各自入力後の返信

(6) 分析方法：単純集計（オクレンジャー）

3. 結果

対象者数 431 人中回収数 260（回収率 60.3%）

(1) サポート体制 *（ ）内は令和4年度

履修登録や単位取得について相談できる体制については、94.2(92.4)%が整っていると回答した。休講などの連絡が学生にわかりやすく情報提供されているかについては、86.2(76.6)%が提供されていると回答した。今年度導入したUNIPA 利用状況については、利用しているが75.4%、利用していないが23.9%、見方がわからないが0.8%であった。学生便覧を活用しているかについては、60.4(65.4%)が当てはまる・どちらかと言えば当てはまると回答した。

学生生活について相談できる体制については、87.3(87.9)%が整っていると回答した。奨学金制度などの経済的サポート体制については90.4(93.0)%が整っていると回答した。からだやこころの健康について相談できる環境があるかについては、「からだ」が83.1%、「こころ」が利用者において84.7%であった。進路・就職サポート体制について、全般的に満足しているかについては、91.9(94.4)%が当てはまる・どちらかと言えば当てはまると回答した。

職員の対応に満足しているかについては、全体として、当てはまる・どちらかと言えば当てはまると回答した者が9割以上であった。個々の教職員対応への記述もあった。

(2) 教育施設・設備

講義室・実習室等の教育施設について全般的に満足しているかについては、91.9(89.3)%が当てはまる・どちらかと言えば当てはまると回答した。自習スペースについては、十分と回答した者は74.6(65.9)%、くつろげる空間では77.3%であった。食堂や売店の充実に関しては利用者の9割以上に肯定的な回答がみられた。教室の空調の効きでは、十分と回答した者は76.5(79.2)%であった。駐車場については、利用者の利用しやすさを見ると、当てはまる・どちらかといえば当てはまると72.3%であった。

4. 考察

回答率が減少した点が悩ましく、来年度に向けて実施方法の検討が必要である。

(1) サポート体制

履修、学生生活、健康のサポート体制は比較的整っている。こころのサポートについては利用状況を確認したい。学生便覧の活用については、前年度より下がっており、引き続き活用する方法について検討する必要がある。教職員の対応については、個々の対応を今一度確認し、さらなる向上を目指したい。

(2) 教育施設・設備

自習スペースの確保は伸びているがくつろげる空間と合わせて学生が使用できる場所の検討を重ねたい。空調、駐車場の整備は前年度に引き続き対応を進めていく。

5. まとめ

ここで得られた結果を各部署で共有し、連携の下で検討及び改善し、学生の教育環境を整えていくように取り組みたい。